

第 9 章 参考資料

第 1 節	残留農薬検査結果	371
第 1	輸入畜水産物の残留農薬検査結果	371
第 2	国内産農産物等の残留農薬検査結果	373
第 2 節	防ばい剤検査結果	377
第 3 節	食品中に残留する動物用医薬品等の検査結果	380
第 4 節	野菜類に含有される硝酸・亜硝酸の実態調査結果	383

第9章 参考資料

第1節 残留農薬検査結果

都内に流通する農畜水産物等の安全確保のため、残留農薬検査を行っている。平成20年度の輸入畜水産物の残留農薬検査結果及び国産農産物等の検査結果は以下のとおりである。なお、輸入農産物の検査結果については、第2章第4節「輸入食品対策」に示したとおりである。

第1 輸入畜水産物の残留農薬検査結果

- | | |
|--|--|
| 1 実施期間
平成20年4月から平成21年3月まで | 等を勘案し、8種類の農薬について検査した。 |
| 2 実施機関
健康安全研究センター | 5 検査対象品目 (表9-1-2)
魚介類35品目、食肉75品目の計110品目について検査した。 |
| 3 検査機関
健康安全研究センター | 6 検査結果 (表9-1-3及び表9-1-4)
5品目から2種類の農薬を検出した。検出した農薬及び品名は、表9-1-3及び表9-1-4のとおりであった。なお、違反はなかった。 |
| 4 検査対象農薬 (表9-1-1)
食品衛生法で定められた残留農薬基準等や使用状況 | |

表9-1-1 検査対象農薬

分類	用途	農薬名
有機塩素系農薬 (8種)	殺虫剤 (7種)	エンドリン、ディルドリン (アルドリンを含む)、ヘプタクロル (ヘプタクロルエポキシサイドを含む)、リンデン (γ -BHC)、総DDT、総クロルデン
	殺菌剤 (1種)	HCB
有機リン系農薬 (1種)	殺虫剤 (1種)	クロルピリホス

表9-1-2 検査対象品目

分類	品目	
魚介類 (冷凍食品、凍結食品を含む) (38品目)	海水魚 (海産動物を含む)	エビ(9)、サケ(3)、アナゴ(2)、イカ加工品(2)、スズキ(2)、スズキ加工品(2)、タラ(2)、アカイカ(1)、キンメダイ(1)、タコ(1)、ヤリイカ(1)
	淡水魚	ウナギ加工品(11)
	貝	ロコ貝(1)
食肉類 (89品目)	畜肉	豚肉(40)、牛肉(22)
	食鳥肉	鶏肉(20)、ウズラ肉(2)、鴨肉(2)、雉肉(2)、七面鳥肉(1)

表 9-1-3 農薬別残留農薬検査結果

分類	検査項目名	品名	検出数	検出値 (ppm)	食品衛生法に基づく残留農薬基準等
合 計			5	—	
有機塩素系 殺虫剤	総DDT	ウナギ加工品	2	0.01、0.01	魚介類（うなぎ目魚類に限る）3
		アナゴ	1	0.27	
		スズキ	1	0.02	魚介類（スズキ目魚類に限る）3
		キンメダイ	1	0.01	魚介類（その他の魚類に限る）3

表 9-1-4 品目別残留農薬検査結果

種別	品名	国名	検査項目名	検出値 (ppm)
凍（冷凍食品を含む）魚介類	ウナギ加工品	中華人民共和国	総DDT	0.01
	ウナギ加工品	中華人民共和国	総DDT	0.01
	アナゴ	ニュージーランド	総DDT	0.27
	スズキ	中華人民共和国	総DDT	0.02
	キンメダイ	中華人民共和国	総DDT	0.01

第2 国内産農産物等の残留農薬検査結果

1 実施期間

平成20年4月から平成21年3月まで

2 実施機関

健康安全研究センター、市場衛生検査所及び芝浦食肉衛生検査所

3 検査機関

健康安全研究センター、市場衛生検査所及び芝浦食肉衛生検査所

4 検査対象農薬 (表9-1-5)

食品衛生法で定められた残留農薬基準や使用状況等を勘案し、155種類の農薬から、検体の種類に応じて選択し、検査した。

5 検査対象品目 (表9-1-6)

野菜、果実、米、魚介類、食肉、乳、加工食品等98種類391品目について検査した。

6 検査結果 (表9-1-7及び表9-1-8)

25種類75品目から24種類の農薬を検出し、ムカゴ1検体から基準値を超えるEPNとピラクロホスを検出した。検出した農薬及び品名は、表9-1-7及び表9-1-8のとおりであった。

表9-1-5 検査対象農薬

分類	用途	農薬名
含ハロゲン系農薬 (16種類)	殺虫剤 (10種)	総BHC、総DDT、アルドリン及びディルドリン、エンドリン、クロルデン、クロルフェナピル、ジコホル、テフルトリン、プロモプロピレート、ヘプタクロル
	殺菌剤 (6種)	ジクロラン (CNA)、フサライド、プロシミドン、ピンクロゾリン、ヘキサクロロベンゼン、クロロネブ
有機リン系農薬 (45種類)	殺虫剤 (40種)	EPN、アジンホスメチル、アセフェート、イソキサチオン、エチオン、エチルチオメトン、エトプロホス、エトリムホス、オメトエート、カズサホス、キナルホス、クロルピリホス、クロルピリホスメチル、総クロルフェンピホス (CVP)、シアノホス、ジクロルボス (DDVP)、ジスルホトン、ジメチルピホス、ジメトエート、ダイアジノン、チオメトン、テルブホス、トリアゾホス、トリクロルホソ、パラチオン、パラチオンメチル、ピリミホスメチル、フェニトロチオン、フェンチオン、フェントエート、プロチオホス、プロフェノホス、ホサロン、ホスチアゼート、ホスメット、マラチオン、メタミドホス、メチダチオン、イソカルボホス、ホレート
	殺菌剤 (3種)	エディフェンホス (EDDP)、トルクロホスメチル、イプロベンホス
	除草剤 (2種)	ブタミホス、ピペロホス
ピレスロイド系農薬 (13種類)	殺虫剤 (12種)	アクリナトリン、シペルメトリン、シハロトリン、シフルトリン、デルタメトリン及びトラロメトリン、ハルフェンブロックス、ピフェントリン、フェンバレレート、フェンプロバトリン、フルシトリネート、フルバリネート、ペルメトリン
	共力剤 (1種類)	ピペロニルプトキシド
カーバメート系農薬 (25種類)	殺虫剤 (23種)	アルジカルブ、イソプロカルブ、エチオフェンカルブ、カルボフラン、オキサミル、カルバリル、チオジカルブ及びメソミル、ピリミカーブ、フェノプロカルブ、プロボキスル、ベンダイオカルブ、メチオカルブ、XMG、アミノカルブ、アルジカルブスルホキシド、アルドキシカルブ、キシリルカルブ、トリメタカルブ、プフェンカルブ、プロメカルブ、ベンフラカルブ、メトルカルブ、フェノチオカルブ
	殺菌剤 (1種)	ジエトフェンカルブ
	除草剤 (1種)	クロルプロファミ
含窒素系農薬 (30種類)	殺虫剤 (4種)	デブフェンピラド、ピリダベン、プロフェジン、ピリプロキシフェン
	殺菌剤 (13種)	オキサジキシル、クレソキシムメチル、ジフェノコナゾール、テトラコナゾール、テブコナゾール、トリアジメノール、トリアジメホソ、フェナリモル、フルトラニル、フルシラゾール、プロピコナゾール、メタラキシル、ミクロブタニル
	除草剤 (12種)	アラクロール、エスプロカルブ、シマジン、テニコロール、トリフルラリン、ブタクロール、プレチラクロール、ピリミノバックメチル、ペンディメタリン、メトラクロール、メフェナセット、レナシル
	植物成長調整剤 (1種)	バクロブトラゾール
その他の農薬 (25種類)	殺虫剤 (2種)	クロルベンジレート、クロルフルアズロン
	殺菌剤 (11種)	イソプロチオラン、カプタホール、キャプタン、ヒ素、ピテルタノール、メブロニル、クロロタロニル (TPN)、フェンプロコナゾール、ボスカリド、ピリメタニル、ベナラキシル
	除草剤 (9種)	オキサジアゾン、クロメトキシニル、クロルニトロフェン、チオベンカーブ、アセトクロール、プロピザミド、プロメトリン、カルフェントラゾンエチル、オキシフルオロフェン
	防ばい剤 (3種)	イマザリル、オルトフェニルフェノール、チアベンダゾール
その他 (1種)		総臭素

表 9-1-6 検査対象品目

分類		種類数	品目数	種類【()内は品目数】
合計		98	391	—
青果物	生鮮野菜	35	158	インゲンマメ(1)、エダマメ(1)、カブ(根)(4)、カブ(葉)(4)、カボチャ(4)、カリフラワー(1)、キャベツ(8)、キュウリ(19)、クウシンサイ(1)、ゴボウ(1)、コマツナ(5)、サツマイモ(5)、サトイモ(5)、シソ(1)、シュンギク(2)、ダイコン(8)、タマネギ(4)、トウガン(1)、トマト(9)、ナガイモ(1)、ナガネギ(1)、ナス(10)、ニンジン(7)、ハクサイ(10)、パレイショ(5)、ピーマン(13)、ブロッコリー(2)、ホウレンソウ(5)、ミズナ(4)、ミツバ(1)、ミニトマト(3)、ムカゴ(1)、モロヘイヤ(1)、レタス(6)、未成熟インゲン(4)
	生鮮果実	19	50	アマナツ(1)、イチゴ(5)、イチジク(1)、ウメ(2)、カキ(1)、キンカン(1)、スイカ(1)、スモモ(1)、セイヨウナシ(1)、シラヌヒ(2)、ナシ(9)、カワチパンカン(1)、ピロ(1)、ブドウ(5)、ミカン(5)、メロン(1)、モモ(4)、ユズ(1)、リンゴ(7)
米	米(玄米)	1	25	米(25)
魚介類	海水魚類 (水産動物含む)	21	40	アオハタ(1)、アカカマス(1)、オキメダイ(1)、カンパチ(1)、キンメダイ(1)、クロマグロ(1)、コノシロ(1)、サワラ(1)、サンマ(1)、スズキ(20)、タチウオ(1)、トラフグ(1)、ニシン(1)、ブリ(1)、マアジ(1)、マサバ(1)、マダラ(1)、マナカツオ(1)、マナマコ(1)、メカジキ(1)、メバチマグロ(1)
	淡水魚類	9	16	アマゴ(1)、アユ(4)、イワナ(3)、ウナギ(1)、コイ(1)、ドジョウ(1)、ニジマス(2)、ヤマメ(2)、ワカサギ(1)
	貝類	4	4	クロアワビ(1)、ホタテガイ(1)、マガキ(1)、ムラサキイガイ(1)
肉類	牛	1	13	牛肉(13)
	豚	1	17	豚肉(17)
	鶏	1	10	鶏肉(10)
	乳類	1	20	生乳(20)
	加工食品等	5	38	液卵(3)、小麦粉(3)、清涼飲料水(4)、ベビーフード(27) ナッツ類加工品(1)

表 9-1-7 農薬別残留農薬検査結果(その1)

分類	農薬名	食品名	検出数	検出範囲	食品衛生法に基づく 残留農薬基準※
有機塩素系	t-クロルデン	スズキ	1	0.001ppm	
	C-クロルデン	スズキ	4	0.001~0.002ppm	
	t-ノナクロル	スズキ	18	0.001~0.003ppm	
	C-ノナクロル	スズキ	13	0.001~0.002ppm	
有機塩素系	イプロジオン	ピーマン	1	0.02ppm	10ppm
	キャプタン	ナシ	1	0.02ppm	25ppm
		リンゴ	1	0.11ppm	5.0ppm
	クロルフェナピル	ピーマン	1	0.01ppm	1ppm

表 9-1-7 農薬別残留農薬検査結果 (その2)

分類	農薬名	食品名	検出数	検出範囲	食品衛生法に基づく 残留農薬基準※
ハロゲン系	クロルフェナピル	ピーマン	1	0.01ppm	1ppm
	ディルドリン	キュウリ	2	0.01~0.06ppm	0.02ppm
	フサライド	玄米	4	0.01~0.02ppm	1ppm
	プロシミドン	キュウリ	2	0.03~0.14ppm	5ppm
		キャベツ	1	0.02ppm	2ppm
		ピーマン	1	0.06ppm	5ppm
ミツバ		1	3.1ppm	5ppm	
リン系	EPN	キュウリ	1	0.08ppm	0.1ppm
		ムカゴ	1	0.03ppm	0.01ppm
	アセフェート	トマト	1	0.03ppm	5.0ppm
		ピーマン	1	0.38ppm	5.0ppm
	クロルビリホス	サツマイモ	1	0.01ppm	0.1ppm
	ピラクロホス	ムカゴ	1	0.34ppm	0.05ppm
	ホスチアゼート	シュンギク	1	0.08ppm	0.1ppm
	マラチオン	小麦粉	1	0.02ppm	1.2ppm
	メタミドホス	トマト	1	0.13ppm	2.0ppm
		ピーマン	1	0.13ppm	2.0ppm
	メチダチオン	ナツミカン	1	0.22ppm	5ppm
		キンカン	1	0.02ppm	5ppm
		カワチバンカン	1	0.06ppm	5ppm
		ウンシュウミカン	1	0.14ppm	5ppm
ピレスロイド系	シペルメトリン	コマツナ	1	0.61ppm	5.0ppm
		ナシ	2	0.07~0.1ppm	2.0ppm
		ナス	1	0.07ppm	0.5ppm
カーバメート系	ビフェントリン	ナシ	1	0.08ppm	0.5ppm
カーバメート系	ジエトフェンカルブ	トマト	1	0.03ppm	5.0ppm
		ナシ	1	0.06ppm	5.0ppm
		ミツバ	1	0.13ppm	5.0ppm
		未成熟インゲン	1	0.07ppm	5.0ppm
その他	クレソキシムメチル	イチゴ	2	0.18~0.72ppm	5ppm
		ナシ	6	0.02~0.17ppm	5ppm
		カワチバンカン	1	0.05ppm	10ppm
		ピーマン	1	0.08ppm	2ppm
		ユズ	1	0.02ppm	10ppm
		クロロタロニル	キュウリ	1	0.16ppm
	ナシ	1	0.03ppm	0.5ppm	
	ナス	1	0.02ppm	2ppm	
	ハクサイ	1	0.2ppm	2ppm	
	シハロトリン	セイヨウナシ	1	0.04ppm	0.4ppm
		リンゴ	1	0.07ppm	0.4ppm
	ピテルタノール	モモ	1	0.02ppm	1.0ppm
	フェンバレレート	ハクサイ	1	0.08ppm	3.0ppm
	フェンプロパトリン	ナシ	3	0.08~0.19ppm	5ppm
		リンゴ	3	0.06~0.12ppm	5ppm
	フルバリネート	ナシ	1	0.01ppm	2.0ppm
	ペルメトリン	シュンギク	1	1.5ppm	3.0ppm
		ナシ	1	0.02ppm	2.0ppm
未成熟インゲン		1	0.07ppm	3.0ppm	
臭素	小麦粉	3	2~3ppm	0.01ppm	

※平成21年3月31日現在

表 9-1-8 食品別残留農薬検査結果

種別	食品名	産地	検出農薬	検出値 (ppm)	種別	食品名	産地	検出農薬	検出値 (ppm)
生 鮮 野 菜	キャベツ	北海道	プロシミドソ	0.02	生 鮮 果 実	ナシ	栃木	ジエトフェンカルブ	0.06
	キュウリ	東京都	ディルドリン	0.06		ナシ	福島	クレソキシムメチル	0.05
	キュウリ	千葉	プロシミドソ	0.03		クロロタロニル	0.03		
	キュウリ	千葉	プロシミドソ	0.14		モモ	山梨	ピラタール	0.02
	キュウリ	千葉	ディルドリン	0.01		ユズ	高知	クレソキシムメチル	0.02
	キュウリ	埼玉	EPN	0.08		リンゴ	青森	シハロトリン	0.07
	キュウリ	徳島	クロロタロニル	0.16		リンゴ	山形	フェンプロパトリン	0.06
	コマツナ	東京都	シベルメトリン	0.61		キャプタン	0.11		
	サツマイモ	茨城県	クロルピリホス	0.01		リンゴ	山形	フェンプロパトリン	0.12
	シュンギク	千葉	ホスチアゼート	0.08		リンゴ	長野	フェンプロパトリン	0.12
	シュンギク	東京都	ベルメトリン	1.5	玄米	北海道	フサライド	0.01	
	トマト	茨城	ジエトフェンカルブ	0.03	玄米	青森	フサライド	0.01	
	トマト	東京都	アセフェート	0.03	玄米	秋田	フサライド	0.01	
	トマト	東京都	メタミドホス	0.13	玄米	秋田	フサライド	0.02	
	ナス	茨城	シベルメトリン	0.02	米	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001
	ナス	高知県	クロロタロニル	0.02		c-ノナクロル	0.001		
	ハクサイ	長野	フェンバレレート	0.03		スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001
	ハクサイ	長野県	クロロタロニル	0.01		c-ノナクロル	0.001		
	ハクサイ	長野県	クロロタロニル	0.19		スズキ	東京	c-クロルデン	0.001
	ハクサイ	長野県	フェンバレレート	0.05		t-ノナクロル	0.001		
	ピーマン	茨城	クレソキシムメチル	0.08		c-ノナクロル	0.001		
	ピーマン	福島県	クロルフェナピル	0.01		スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001
	ピーマン	茨城県	プロシミドソ	0.06		c-ノナクロル	0.001		
	ピーマン	青森県	アセフェート	0.38		スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001
	ピーマン	青森県	メタミドホス	0.13	c-ノナクロル	0.001			
	ピーマン	福島県	イブゾジオン	0.02	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.003	
	未成熟インゲン	東京都	ジエトフェンカルブ	0.07	c-ノナクロル	0.002			
	未成熟インゲン	東京都	ベルメトリン	0.07	スズキ	東京	c-クロルデン	0.001	
	ミツバ	茨城	プロシミドソ	3.1	t-ノナクロル	0.002			
	ムカゴ	茨城	ピラクロホス	0.34	c-ノナクロル	0.002			
			EPN	0.03	魚 介 類	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001
	アマナツ	熊本	メチダチオン	0.22		c-ノナクロル	0.001		
	イチゴ	宮城	クレソキシムメチル	0.18		スズキ	東京	t-クロルデン	0.002
	イチゴ	佐賀	クレソキシムメチル	0.72		c-クロルデン	0.002		
	ウンシュウミカン	愛媛	メチダチオン	0.14		t-ノナクロル	0.002		
	カワチバンカン	愛媛	メチダチオン	0.06		c-ノナクロル	0.002		
			クレソキシムメチル	0.05		スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001
	キンカン	宮崎	メチダチオン	0.02		c-クロルデン	0.001		
	セイヨウナシ	山形	シハロトリン	0.04		スズキ	東京	t-ノナクロル	0.002
			シベルメトリン、	0.07		c-ノナクロル	0.001		
	生 鮮 果 実	ナシ	千葉	ピフェントリン	0.08	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.002
				フェンプロパトリン	0.08	c-ノナクロル	0.002		
				クレソキシムメチル	0.12	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001
				クレソキシムメチル	0.02	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001
		ナシ	千葉	キャプタン	0.02	c-ノナクロル	0.001		
フェンプロパトリン				0.19	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001	
フルバリネート				0.01	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001	
クレソキシムメチル				0.1	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001	
ナシ		茨城	シベルメトリ	0.17	c-ノナクロル	0.001			
			ベルメトリン	0.02	スズキ	東京	t-ノナクロル	0.001	
ナシ		茨城	クレソキシムメチル	0.12	そ の 他	小麦粉	アメリカ、カナダ (原料原産地)	マラチオン	0.02
ナシ		茨城	シベルメトリン	0.1		小麦粉	アメリカ、カナダ、 オーストラリア (原料原産地)	臭素	3
ナシ		栃木	フェンプロパトリン	0.09		小麦粉	アメリカ、オーストラリア、 北海道、栃木 (原料原産地)	臭素	2
ナシ		栃木	クレソキシムメチル	0.17					

第2節 防ばい剤検査結果

輸入かんきつ類等には、輸送・貯蔵中のカビ発生を防止するため、防ばい剤が使用されていることがある。食品衛生法では、かんきつ類とバナナに防ばい剤の使用が認められており、表示が義務付けられている。

東京都では、従来より都内に流通する輸入かんきつ類等について、安全確保のため検査を行っている。平成20年度の検査結果は以下のとおりである。

1 実施期間

平成20年4月から平成21年3月まで

2 実施機関

健康安全研究センター及び市場衛生検査所

3 検査機関

健康安全研究センター及び市場衛生検査所

4 検査対象品目（表9-2-1）

かんきつ類6種類102品目、バナナ38品目、加工品16品目、容器類16品目について検査した。

5 検査結果（表9-2-1及び表9-2-2）

6種類84品目から3種類の防ばい剤を検出した（表9-2-1）。検出した防ばい剤及び品名の内訳は、表9-2-2のとおりであった。

なお、違反となった検体はなかった。

表 9-2-1 防ばい剤検査結果

分類	原産国	イマザリル		オルトフェニル フェノール		ジフェニル		チアベンダゾール		
		検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数	
かんきつ類	オレンジ (全果)	アメリカ	15	14	15	0	9	0	15	15
		オーストラリア	7	6	7	1	3	0	7	6
		チリ	3	3	3	0	1	0	3	3
		南アフリカ	2	1	2	0	1	0	2	0
	オレンジ(果肉)	オーストラリア	2	0					2	0
		南アフリカ	1	0					1	0
	オロブランコ (全果)	アメリカ	1	0	1	0	1	0	1	1
	グレープフルーツ (全果)	アメリカ	16	14	16	9	6	0	16	14
		スワジランド	2	2	2	0	2	0	2	0
		南アフリカ	19	16	19	0	11	0	19	2
	グレープフルーツ (果肉)	アメリカ	1	1					1	0
		南アフリカ	3	2					3	0
	スウィーティ(全果)	イスラエル	2	2	2	1	1	0	2	2
	ライム(全果)	メキシコ	4	1	4	0	2	0	4	0
	レモン(全果)	アメリカ	9	6	9	0	7	0	9	5
		オーストラリア	2	1	2	0	1	0	2	1
チリ		8	8	8	0	5	0	8	2	
ニュージーランド		1	0	1	0			1	0	
レモン(果肉)	南アフリカ	1	0	1	0			1	0	
	オーストラリア	1	0					1	0	
	チリ	1	0					1	0	
	南アフリカ	1	0					1	0	
小計			102	77	92	11	50	0	102	51
バナナ	バナナ (全果)	台湾	2	0	2	0	1	0	2	0
		フィリピン	16	0	16	0	4	0	16	0
		ペルー	1	0	1	0			1	0
	バナナ (果肉)	台湾	1	0	1	0	1	0	2	0
		フィリピン	11	0	4	0	4	0	16	0
		ペルー	1	0					1	0
小計			32	0	24	0	10	0	38	0
食肉	牛肉	アメリカ							5	0
		オーストラリア							21	0
		カナダ							2	0
		ニュージーランド							2	0
	豚肉	アメリカ							14	0
		オーストラリア							1	0
		オランダ							2	0
		カナダ							16	0
		スウェーデン							1	0
		スペイン							2	0
		チリ							1	0
		デンマーク							10	0
		ハンガリー							3	0
		フィンランド							1	0
		ポーランド							1	0
		メキシコ							3	0
小計								85	0	
加工品	穀類及びその加工品	フランス	1	0	1	0			1	0
		アメリカ	1	0	1	0			7	0
	野菜・果物及び その加工品	オランダ	1	0	1	0			1	0
		フランス							7	0
小計			3	0	3	0	0	0	16	0
容器類	竹製割り箸	中国	9	0	9	0	9	0	9	0
	木製割り箸	中国	6	0	6	0	6	0	6	0
	その他割り箸	中国	1	0	1	0	1	0	1	0
	小計			16	0	16	0	16	0	16
合計			153	77	135	11	76	0	257	51

表9-2-2 防ばい剤を検出した内訳

品名	原産国	検出値	品名	原産国	検出値		
オレンジ (全果)	アメリカ	イマザリル：1.5ppm チアベンダゾール：0.9ppm	グレープフルーツ (全果)	アメリカ	イマザリル：1.7ppm オルトフェニルフェノール：0.77ppm チアベンダゾール：1.1ppm		
	アメリカ	イマザリル：2.5ppm チアベンダゾール：0.1ppm		アメリカ	イマザリル：0.07ppm オルトフェニルフェノール：0.6ppm チアベンダゾール：0.56ppm		
	アメリカ	イマザリル：1ppm チアベンダゾール：1.2ppm		アメリカ	イマザリル：0.41ppm オルトフェニルフェノール：0.25ppm チアベンダゾール：0.05ppm		
	アメリカ	チアベンダゾール：1.9ppm		アメリカ	イマザリル：1.8ppm オルトフェニルフェノール：0.06ppm チアベンダゾール：0.27ppm		
	アメリカ	イマザリル：0.72ppm チアベンダゾール：0.94ppm		アメリカ	イマザリル：1.8ppm		
	アメリカ	イマザリル：1.06ppm チアベンダゾール：1.56ppm		アメリカ	オルトフェニルフェノール：0.58ppm チアベンダゾール：0.8ppm		
	アメリカ	イマザリル：1.69ppm チアベンダゾール：1.85ppm		アメリカ	オルトフェニルフェノール：0.04ppm チアベンダゾール：0.42ppm		
	アメリカ	イマザリル：1.75ppm チアベンダゾール：1.58ppm		スワジランド	イマザリル：1.3ppm		
	アメリカ	イマザリル：1.70ppm チアベンダゾール：1.90ppm		スワジランド	イマザリル：0.5ppm		
	アメリカ	イマザリル：1.2ppm チアベンダゾール：1.3ppm		南アフリカ	イマザリル：0.8ppm		
	アメリカ	イマザリル：1.2ppm チアベンダゾール：1.5ppm		南アフリカ	イマザリル：1.1ppm		
	アメリカ	イマザリル：0.71ppm チアベンダゾール：0.25ppm		南アフリカ	イマザリル：0.5ppm		
	アメリカ	イマザリル：0.59ppm チアベンダゾール：0.22ppm		南アフリカ	イマザリル：1.4ppm		
	アメリカ	イマザリル：0.06ppm チアベンダゾール：0.89ppm		南アフリカ	イマザリル：1.46ppm		
	アメリカ	イマザリル：1.3ppm チアベンダゾール：1.2ppm		南アフリカ	イマザリル：1.14ppm		
	オーストラリア	イマザリル：0.15ppm チアベンダゾール：0.24ppm		南アフリカ	イマザリル：0.86ppm		
	オーストラリア	イマザリル：3.68ppm チアベンダゾール：0.75ppm		南アフリカ	イマザリル：0.2ppm		
	オーストラリア	イマザリル：0.1ppm チアベンダゾール：0.8ppm		南アフリカ	イマザリル：0.85ppm		
	オーストラリア	イマザリル：0.81ppm チアベンダゾール：0.9ppm		南アフリカ	イマザリル：1.23ppm		
	オーストラリア	チアベンダゾール：0.26ppm		南アフリカ	チアベンダゾール：0.24ppm		
	オーストラリア	イマザリル：0.2ppm オルトフェニルフェノール：1.7ppm		南アフリカ	イマザリル：1.5ppm		
	オーストラリア	イマザリル：1.4ppm チアベンダゾール：0.44ppm		南アフリカ	イマザリル：0.55ppm チアベンダゾール：1.8ppm		
	チリ	イマザリル：1.6ppm チアベンダゾール：0.5ppm		南アフリカ	イマザリル：2ppm		
	チリ	イマザリル：0.9ppm チアベンダゾール：1.2ppm		南アフリカ	イマザリル：2.4ppm		
	チリ	イマザリル：0.48ppm チアベンダゾール：0.18ppm		南アフリカ	イマザリル：2.2ppm		
	南アフリカ	イマザリル：0.57ppm		南アフリカ	イマザリル：1.6ppm		
	オロブランコ (全果)	アメリカ		チアベンダゾール：1.1ppm	グレープフルーツ (果肉)	アメリカ	イマザリル：0.26ppm
	グレープフルーツ (全果)	アメリカ		イマザリル：0.4ppm	南アフリカ	イマザリル：0.06ppm	
		アメリカ		イマザリル：0.6ppm チアベンダゾール：0.3ppm	南アフリカ	イマザリル：0.3ppm	
		アメリカ		イマザリル：0.1ppm チアベンダゾール：0.3ppm	イスラエル	イマザリル：1.8ppm チアベンダゾール：2.3ppm	
		アメリカ		イマザリル：0.88ppm チアベンダゾール：0.48ppm	イスラエル	イマザリル：2.1ppm オルトフェニルフェノール：0.02ppm チアベンダゾール：1.5ppm	
		アメリカ		イマザリル：1.59ppm チアベンダゾール：1.65ppm	メキシコ	イマザリル：0.42ppm	
		アメリカ		イマザリル：1.50ppm チアベンダゾール：1.20ppm	アメリカ	イマザリル：1ppm	
アメリカ		イマザリル：1.1ppm オルトフェニルフェノール：0.13ppm チアベンダゾール：1.6ppm	アメリカ	イマザリル：1.9ppm チアベンダゾール：0.9ppm			
アメリカ		イマザリル：1.9ppm オルトフェニルフェノール：2.1ppm チアベンダゾール：2.4ppm	アメリカ	イマザリル：1.68ppm			
アメリカ		イマザリル：0.68ppm オルトフェニルフェノール：0.24ppm チアベンダゾール：0.13ppm	アメリカ	イマザリル：1.44ppm チアベンダゾール：0.43ppm			
			アメリカ	イマザリル：0.88ppm チアベンダゾール：0.62ppm			
			アメリカ	イマザリル：0.72ppm チアベンダゾール：0.04ppm			
			アメリカ	チアベンダゾール：3.6ppm			
			オーストラリア	イマザリル：3.5ppm チアベンダゾール：0.31ppm			
			チリ	イマザリル：1.4ppm チアベンダゾール：0.3ppm			
			チリ	イマザリル：1ppm			
			チリ	イマザリル：0.95ppm			
			チリ	イマザリル：1.03ppm			
			チリ	イマザリル：0.82ppm			
			チリ	イマザリル：1.8ppm			
			チリ	イマザリル：0.77ppm チアベンダゾール：0.02ppm			
		チリ	イマザリル：0.41ppm				

第3節 食品中に残留する動物用医薬品等の検査結果

動物用医薬品とは、牛、豚、鶏等の畜産動物や養殖魚に対して、病気の予防や治療等のために飼育段階で使用される抗菌性物質、ホルモン剤、駆虫剤等の総称である。

食品は抗生物質を含有してはならないこと、また、食肉、食鳥卵及び魚介類は化学的合成品たる抗菌性物質を含有してはならないことが成分規格として定められている。ただし、平成18年5月29日からポジティブリスト制度が導入され、残留基準が定められている場合は、その基準に基づき規制されるが、残留基準が定められていない場合は、ヒトの健康を損なうおそれのない量、いわゆる一律基準(0.01ppm)により規制されることとなった。

東京都では残留動物用医薬品等について、都内に流通する畜産物及び魚介類を対象として検査を実施している。また、と畜場においては、と畜段階で検査を実施している。平成20年度の検査結果は以下の通りであった。

1 実施期間

平成20年4月から平成21年3月まで

2 実施機関

食品監視課、健康安全研究センター、市場衛生検査所及び芝浦食肉衛生検査所

3 検査機関

健康安全研究センター、市場衛生検査所及び芝浦食肉衛生検査所

4 検査項目(表9-3-1)

抗菌性物質 37種、内寄生虫駆除剤 14種、計 51項目

5 検査対象品目(表9-3-2、表9-3-3、表9-3-5)

- (1) 畜産物：食肉、食鳥卵、乳類等 計 283 検体
- (2) 魚介類：海水魚、淡水魚、貝類等 計 155 検体
- (3) と畜段階での検査

牛、豚 計 117 頭、354 検体

6 検査結果(表9-3-2から表9-3-6)

畜産物及び魚介類の検査結果を表9-3-2から表9-3-4に示した。基準値を越す検体はなかった。

と畜段階での検査結果について、表9-3-5から表9-3-6に示した。基準値を越す検体はなかった。

表9-3-1 動物用医薬品の検査項目

分類		動物用医薬品
抗菌性物質 (37種)	抗生物質 (5種)	マクロライド系、テトラサイクリン系、ペニシリン系、アミノグリコシド系、ポリエーテル系
	合成抗菌剤 (32種)	アンプロリウム、エンロフロキサシン、オキシリン酸、オルピフロキサシン、オルメトプリム、クリスタルパイオレット、クロピドール、クロラルフェニコール、サラフロキサシン、ジフロキサシン、シプロフロキサシン、スルファキノキサリン、スルファジアジン、スルファジミジン、スルファジメトキシシ、スルファメトキサゾール、スルファメトキシピリタジン、スルファメラジン、スルファモノメトキシシ、ダノフロキサシン、チアンフェニコール、デコキネート、トリメトプリム、ナイカルバジン、ナリジクス酸、ピリメタミン、フラゾリドン、フラルタドン、フロルフエニコール、フルメキン、マラカイトグリーン、ロイコマラカイトグリーン
内寄生虫駆除剤(14種)		イベルメクチン、エプリノメクチン、オクスフェンダゾール、ジクラズリル、シロマジン、チアベンダゾール、ドラメクチン、トリクラベンダゾール、フェンベンダゾール、フルベンダゾール、メベンダゾール、モキシデクチン、レバミゾール、5-プロピルスルホニル-1H-ベンズイミダゾール-2-アミン

9-3-2 畜産物中に残留する動物用医薬品の検査結果（()内は検出検体数）

食品名		抗菌性物質		内寄生虫 駆除剤 検体数	
		抗生物質 検体数	合成抗菌剤 検体数		
畜産物	牛	筋肉	41	41	41
		腎臓	1		
		心臓	2	2	2
	豚	筋肉	68 (3)	68 (1)	68
		肝臓	1	1	1
		腎臓	1		
		心臓	1	1	1
		舌	1	1	1
	食鳥	鶏肉	33 (8)	33 (1)	33
		鴨肉	2	2	2
		七面鳥肉	1	1	1
		ウズラ肉	2	2	2
		キジ肉	2	2	2
	卵	鶏卵	24	24	24
		液卵	2	2	2
		凍結卵	2	2	2
	乳類	生乳	30	30	30
		牛乳	43		
		加工乳	5		
	その他	蜂蜜	21	21	
合計		283 (11)	233 (2)	212	

表 9-3-3 魚介類中に残留する動物用医薬品の検査結果（()内は検出検体数）

食品名		抗菌性物質		食品名	抗菌性物質		
		抗生物質 検体数	合成抗菌剤 検体数		抗生物質 検体数	合成抗菌剤 検体数	
エビ(注1)	エビ(注1)	21	21	淡水魚	アマゴ	1	1
	エビ加工品	1	1		アユ	5	5
	カワハギ	1	1		イワナ	4	4
	カンパチ	12	12		ウナギ	8	8
	クロソイ	1	1		ウナギ加工品	12	19
	サケ(注2)	9	9		コイ	1	1
	サケ加工品	3	3		ドジョウ	1	1
	サバ	2	2		ニジマス	8	8
	サワラ	1	1		ヤマメ	5	5
	シマアジ	6	6		貝	アワビ(注4)	2 (1)
	スズキ	7	7	カキ		2	2
	タイ	10	10	ホタテガイ		2	2
	トラフグ	3	3	合計	149 (2)	155	
	ハタ	1	1	(注1) エビにはウシエビ、クルマエビ、シロアシエビを含む。 (注2) サケにはアトランティックサーモン、ギンザケ、タイセイヨウサケ、トラウトサーモンを含む。 (注3) マグロにはクロマグロ、ミナミマグロを含む。 (注4) アワビにはエゾアワビ、クロアワビを含む。			
	ヒラマサ	1	1				
	ヒラメ	8 (1)	7				
	ブリ	6	6				
マグロ(注3)	5	5					

表 9-3-4 検査で検出した物質の内訳

	食品名	原産国	物質名	検出値	残留基準
畜産物	豚肉	日本	スルファジミジン	0.04ppm	0.1ppm
	豚肉	日本	クロルテトラサイクリン	0.04ppm	0.2ppm
	豚肉	日本	ドキシサイクリン	0.008ppm	0.05ppm(注)
	豚肉	メキシコ	クロルテトラサイクリン	0.03ppm	0.2ppm
	鶏肉	ブラジル	エンフロキサシン	0.01ppm	0.05ppm
	鶏肉	ブラジル	ラサロシド	0.001ppm	0.01ppm
	鶏肉	ブラジル	ラサロシド	0.003ppm	0.01ppm
	鶏肉	ブラジル	ラサロシド	0.001ppm	0.01ppm
	鶏肉	ブラジル	ラサロシド	0.002ppm	0.01ppm
	鶏肉	ブラジル	ラサロシド	0.001ppm	0.01ppm
	鶏肉	ブラジル	ラサロシド	0.002ppm	0.01ppm
	鶏肉	ブラジル	ラサロシド	0.002ppm	0.01ppm
	鶏肉	ブラジル	ドキシサイクリン	0.03ppm	0.05ppm(注)
魚介類	エゾアワビ	韓国	オキシテトラサイクリン	0.07ppm	0.2ppm
	ヒラメ	日本	オキシテトラサイクリン	0.04ppm	0.2ppm

(注)は暫定基準

表 9-3-5 と畜段階における残留抗菌性物質の検査結果

	検査頭数	抗生物質		合成抗菌剤	
		検体数	検出数	検体数	検出数
牛	4	12	-	-	-
豚	113	339	-	3	1
合計	117	351	-	3	1

表 9-3-6 と畜段階における検査で検出した残留抗菌性物質の内訳

畜種	部位	物質名	検出値	残留基準
豚	腎臓	トリメトプリム	0.03	0.1ppm

第4節 野菜類に含有される硝酸・亜硝酸の実態調査結果

東京都においては、昭和51年から野菜類の硝酸・亜硝酸等含有量調査を実施し、その実態を把握してきた。平成20年度の結果は、以下のとおりである。

1 実施期間

平成20年4月から平成21年3月まで

2 実施機関

市場衛生検査所

3 検査項目

硝酸根及び亜硝酸根

4 検査対象

中央卸売市場に入荷する葉菜類25種類48検体について検査した。

5 実施結果

全ての検体から硝酸根を検出した。また、1検体から亜硝酸根を検出した。検出された検体及び検出値は、表9-4のとおりであった。

表9-4 硝酸根・亜硝酸根の実態調査結果

(単位：ppm)

分類	硝酸根					亜硝酸根				
	検体数	検出数	最大値	最小値	平均	検体数	検出数	最大値	最小値	平均
アシタバ	1	1	299	299	299	1	0	ND	ND	-
イタリアンパセリ	1	1	2169	2169	2169	1	0	ND	ND	-
エンダイブ	2	2	2725	2344	2534	2	0	ND	ND	-
カツオナ	1	1	3795	3795	3795	1	0	ND	ND	-
キャベツ	2	2	966	918	942	2	0	ND	ND	-
クウシンサイ	1	1	3074	3074	3074	1	0	ND	ND	-
クレソン	1	1	1348	1348	1348	1	0	ND	ND	-
コマツナ	4	4	6099	1048	3994	4	1	1.8	1.8	1.8
コリアンダー	1	1	2294	2294	2294	1	0	ND	ND	-
サラダナ	2	2	4249	856	2552	2	0	ND	ND	-
サンチュ	1	1	4670	4670	4670	1	0	ND	ND	-
シュンギク	3	3	5037	2092	3293	3	0	ND	ND	-
スイゼンジナ	1	1	4488	4488	4488	1	0	ND	ND	-
セロリ	3	3	6247	2984	4833	3	0	ND	ND	-
タアサイ	1	1	7088	7088	7088	1	0	ND	ND	-
チンゲンサイ	1	1	3839	3839	3839	1	0	ND	ND	-
ツルムラサキ	1	1	2037	2037	2037	1	0	ND	ND	-
ナバナ	1	1	921	921	921	1	0	ND	ND	-
ホウレンソウ	6	6	5297	2241	3775	6	0	ND	ND	-
ミズナ	6	6	8327	1862	5333	6	0	ND	ND	-
ミツバ	1	1	4132	4132	4132	1	0	ND	ND	-
モロヘイヤ	1	1	3696	3696	3696	1	0	ND	ND	-
ルッコラ	1	1	4523	4523	4523	1	0	ND	ND	-
レタス	4	4	3542	898	1822	4	0	ND	ND	-
ワサビナ	1	1	6096	6096	6096	1	0	ND	ND	-
合計	48	48				48	1			

注 NDは、検出限界値以下のもの（硝酸根5ppm、亜硝酸根1ppm）

食品衛生関係事業報告

登録番号 (21) 371

平成 21年版

平成 22年 3月発行

編集・発行 東京都福祉保健局健康安全部食品監視課

東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

電話番号 03-5320-4401

印刷 東京都大田福祉工場

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。